

# シンナガサキミーティング開催レポート

## i n 土井首・南陽小学校区



令和5年12月10日（日）、コミュニティ連絡協議会や育成協、育友会、民生児童委員、芸能保存会など19人の皆さんにお集まりいただき、土井首・南陽小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

最初の自己紹介では、自治会活動のデジタル化への取組み、浮立や大名行列などの伝統芸能の継承、どいのくび祭などの地域の特色ある活動、地域でらしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



## いただいたご意見

### ①南陽小学校の運動場の芝管理について

南陽小学校の芝の運動場については、地域や保護者による手入れだけでは良い状態を維持するのは難しいので、数年に1回は専門業者による手入れをしてもらえないか。

#### 市の考え方・回答

市立全小中学校においては、運動場など平坦な場所については、学校、地域の方及び保護者等に協力していただき、維持管理をしているところであり、傾斜が急な法面や高所など、作業に危険が伴う場所に対しては、業者へ業務委託することで対応しています。

南陽小学校においては、運動場全面が芝生であるため、学校にカートタイプの芝刈り機を備え付け、日々の維持管理は学校を中心に行っています。しかしながら、面積が広大なため芝刈りほか維持管理が難しい状況にある旨学校から申入れがあり、教育委員会において現地確認のうえ、令和5年8月には業者に委託し芝生の刈込み業務を行いました。

引き続き現場における維持管理はお願いすることとなりますが、状況等の把握に務め、必要に応じ業者への業務委託も検討してまいります。

## ②PTA活動について

土井首中学校PTAでは、会長をはじめとした役員や保護者の負担を軽減するため、活動の見直しを行い、学校と地域に目を向けていくことを重視するようにした。クラススタッフ制を導入し、保護者にすごく反響がよい。PTA活動は、今の時代に即した活動に変化することも必要ではないか。

### 市の考え方・回答

土井首中学校PTAについては、時代に合った活動を考案し、実践されており、スムーズに楽しみながら各会員が取り組まれていると思います。

市内の他PTAでも、以前の土井首中PTAのように運営で悩みを抱えているところも多く、土井首中が実践しているクラススタッフ制など共有できれば、大変参考になると考えています。

また、会長の負担軽減については、他PTAの一例として、各種会議には会長代理の方が参加するなど、役割をうまく分散して取り組んでいる例もあります。新たな取組や情報を他PTAと共有することで、土井首中PTAにとっても多くの情報を得られ、更なる活動の活性化に繋がるものと考えています。

そのほか、「学校と連携し、地域の関わりを深めていきたい」、「南陽小学校、土井首中学校、土井首小学校の3校が集まる機会があるといい」など土井首地域に関するご意見や、「長崎市の新たな文化施設の方針について聞きたい」、「高校生の医療費助成を現物給付にしてほしい」など長崎市のまちづくりや取組みに関するご意見をいただきました。

いただいたご意見は、担当部局と共有し、今後の市政運営に活かしていきます。



## 鈴木市長のひと言

土井首は他の地域よりも、コミュニティの活動は活発だと思います。ぜひ今やっている活動を、もっともっと進めていき、発展させて、さらに土井首を元気にしていただければと思います。そして、それを長崎市内全体に広げていただければと思っています。



## 参加者からの感想

若い人からも地域を盛り上げたいということが分かって良かった。今後のために力をいただいた。

地域の皆さんや市長さんのご意見を聞けて、今後の活動に活かしたいと思った。

市長と話せる機会はなかなかないので、いい取組みだと思った。

地域、学校、自治体、もっとコミュニケーションをとって、楽しくやっとうと強く思った。

